

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【評価委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
-----------	---

評価対象期間：平成30年4月1日～平成30年9月30日

評価項目		評価視点	評価区分
1	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	良
2	利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	可
3	施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	良
4	情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	良
5	災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6	地域の各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか 	良

【所管課の総合評価】

平成30年度上半期は、施設利用者の要望等にあわせて、集会室の机を新調するなど、利用の利便性の向上に取り組む姿勢が見られた。設備等が老朽化してきている中、施設の維持管理をするうえで必要な日常的な施設内外の点検業務や清掃業務を実施する他、利用者が快適に施設を利用できることや、安全確保に努めている。本年度は建物の定期報告調査の実施年度であったため、建物や設備について課題を指摘されたが、軽微なものについては速やかに改善できている。

また、会員のすべてが女性ということもあり、利用者への対応も柔らかい。本年度は夏季の異常な暑さの影響もあり、電気代が昨年度の同時期と比べ増加しているが、その増加率は他の施設と比較しても小さく、節約意識が高いため施設運営の経費削減に特段の効果をあげている。

社会奉仕団体の特性を活かし、地域のコミュニティの場を設け、地域の絆を強めることに貢献している。このようなことから、施設管理の責務が十分に果たされている。

【委員会の意見】

平成30年11月26日開催 平成30年度第2回岐南町指定管理者評価委員会での総評

○最低賃金の上昇・電気料等コスト増の外的要因がある厳しい運営状況の中、経費の上昇を最小限に抑えており、相当なコスト削減努力が認められる。この点を踏まえ、次期契約更改時には行政側に指定管理料の見直しを期待したい。

○企業ではなく、任意団体(ボランティア団体)による指定管理がなされているという点を鑑みれば、期待される水準以上の管理運営がなされていると評価できる。